令和5年9月1日発行

倉吉市議会だより

白壁

6月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆（要約）したものを基に掲載しています。

今号の内容

市政に対する一般質問・・・2～9
議案に対する質疑・・・・・・10
特別委員会・・・・・・・・・11
常任委員会・・・・・・・・12～13
議案等の議決結果・・・・・・13
視察報告・・・・・・・・・・14
議会オープンデー特集・・・・15
市民の声・9月定例会・編集後記・16

撮影者：議会だより編集委員

～ 市制施行70周年記念事業　議会オープンデー ～

当日のにぎやかな様子を15ページの特集に掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

No.26

令和５年
6月
第４回
定例会

【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？**】**
　年４回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に１人あたりの質問時間は２５分です。

一般質問通告一覧表

会派名	議員名	発言通告要旨
くらよし	藤井隆弘	◎ 誰もが働きやすい職場と行政経営について
		◎ 倉吉駅周辺整備と活用について
	丸田克孝	◎ 後期高齢者保険料の計算方法について
		◎ 高齢者の就活について
		ＤＸ推進について
		人工知能（チャットＧＰＴ）の取組みについて
	大月悦子	◎ 地震防災について
		◎ 倉吉市立図書館運営について
		ゼロカーボンシティ宣言について
	大津昌克	◎ 地区コミュニティセンターについて
		行財政改革について
		広報・広聴活動について
こころ	田村閑美	◎ 女性と防災について
		西エリア地区公立保育園再編計画について
		◎ 鳥取県立美術館周辺整備について
公明党・改革新政会市議団	竺原晶子	パートナーシップ制度検討のその後について
		◎ ミライロＩＤの普及促進について
		◎ スクールバスの混乗化について
		農産品の輸出拡大について
	鳥飼幹男	◎ Ａコープ閉店に伴う買い物環境確保対策について
		◎ 予約型乗合いタクシー運行状況について
		せきがね道の駅「犬挟」の実証事業の進捗状況について
	鳥羽昌明	◎ 成徳小の新校名について
		◎ 持続可能な地域活動に向けてについて
		避難情報のより効果的な住民への周知について
	福井康夫	◎ 市職員の健康管理について
		◎ スクールバスの混乗化実証実験について
		◎ 倉吉市移住定住支援制度について
		打吹山周辺整備について
		関金振興について
		空き家における水道・下水道等料金の減免について
		自転車通学の安全教育について

会派名	議員名	発言通告要旨
さきがけ	山根健資	◎ 赤瓦・白壁土蔵群（伝建地区）の保護について
		◎ 子育て支援について
		美術館・国道３１３号線・県道３２０号線等の経済効果について
		◎ 大御堂廃寺跡の駐車場の活用方法について
	福井典子	「ひとを育て、まちを育てる、くらしよし倉吉推進事業」について
		小学校統合について
		◎ 結婚支援について
		◎ 子育て支援について
	米田勝彦	◎ もうかる農業について
		◎ 関金と蒜山との連携について
		◎ 公共施設（体育館・まちかどステーション等）の環境整備について
	朝日等治	◎ 道路行政について
		◎ 買い物機能の確保について
日本共産党	佐藤博英	◎ 補聴器への助成について
		◎ 防災行政無線の多言語化について
		マイナンバー、インボイス問題について
		脱炭素社会と中山間地問題について
		◎ 施設に通う障がい者への支援について
		高校・大学生への支援について
		小・中学生（保護者）支援について

◎印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

【通告とは？**】**
　本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。
　なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね２週間前に倉吉市ホームページに掲載されています。

定例会の一般質問
発言通告表

くらよし
藤井（ふじい） 隆弘（たかひろ）

誰もが働きやすい職場と行政経営について

問 ＤＸ推進で人員の適正配置ができると考えるがいかがか。

答 ＡＩに任す業務はＡＩに任せ、顔をあわせ行うことが必要な業務に人員を回す等考えられる。第４次倉吉市行財政改革計画の「やめる、へらす、かえる」で職員の業務改善や適正配置に心がけたい。

倉吉駅周辺整備と活用について

問 樹木等の伐採で施設の景観改善や利用者増、しだれ桜の里の魅力アップができると考えるがいかがか。

答 地元からも要望をいただいている。除去について地域とも協議して可能な限りの対応をしていきたい。

問 12街区等駅周辺の総合的な発展を考えるべきだと思うがいかがか。

答 サウンディング型市場調査、民間のアイデア等調査を行いたいと考えている。事業提案があった際、土地売却額とか貸付額等についても減額とか一部免除の柔軟な協議も行えるよう誘致の促進も図っていきたい。

くらよし
丸田（まるた） 克孝（かつたか）

後期高齢者保険料の計算方法について

問 国民健康保険加入の夫婦世帯が同時に年齢到達によって後期高齢者の医療保険へ移行する場合、保険料の負担がどのように変化するのか。

答 国民健康保険は、世帯を単位に世帯主を納付義務者として保険料を賦課するが、後期高齢者医療保険は、個人を単位とし、個人を納付義務者として保険料を賦課している。本市の国保の保険料率は、県内２番目の低さである。夫婦同時に後期高齢者医療保険の被保険者となった場合、１万２千円ほど増加することとなる。納付する保険料は、医療機関の利用によって変化するので、健康的な生活習慣を心がけることが必要。

高齢者の就活について

問 近隣の市町村は、類似した相談会を開催しているということで、利用者は一定数あるということだが、60歳以上の就労希望者が気楽に相談できるよう、ハローワークや産業雇用安定センターと協力して、高齢者就職相談会を倉吉でも市役所等で開催してはどうか。

答 ハローワークと連携して、月に２回は相談会を開催しているが、今後「公益財団法人産業雇用安定センター」とも連携したい。

くらよし
大月（おおつき） 悦子（えつこ）

「私の避難計画」について

問 今後いつ起こるかわからない大規模災害にそなえて、一人一人が「直後の対応」「いつ」「どのタイミングで」「どこに」「どのように」避難するか、あらかじめ整理し「私の避難計画」を作成して、自分の命を守る行動を個人個人が自分事として捉えることがまず大切。市民アンケートでは、普段の近所づきあいの大切さ、高齢であるための課題があった。「私の避難計画」として作成して共有しておくことが、大切ではないかと考えるが、いかがか。

答 その通りだと思う。国も意識している。倉吉市としても、命と健康を守る行動計画マイタイムラインの作成について周知を図っている。

移動図書について

問 地区コミュニティセンターに聞き取りを行ったところ、図書セット貸出を利用している所もあったが、市の図書館に行くことも困難であり、コミセンに行くにもかなり遠く、車を利用している方が多い。その意味で歩いて行く範囲は自治公民館単位と考えることが必要。誰一人取り残さないを目標にどこでも誰でも安心して本に触れる機会を提供できる環境が必要。移動図書についての考えは。

答 今、移動図書は考えていないが、自治公民館やサークル活動にも貸出をしている出前図書館と呼ばれているものを行っている。その他高齢者サービスとして、元気はつらつ音読教室も取り組んでいる。

問 申込み方法は。

答 依頼があれば出向きますので活用ください。

くらよし
大津（おおつ） 昌克（まさかつ）

地区コミュニティセンター（以下、コミセン）について

問 公民館からコミセンへの移行について、教育委員会の事務を市長部局にするには、補助執行、事務委任、条例による移管がある。本市では地方自治法第180条の7による補助執行。この場合、法律では教育委員会は市長と協議するとなっているが、いつ、どこで、どのような協議が行われたか。また、その協議文書はあるか。

答 ご指摘の法律に基づく協議として本来あるべき文書はなく、それに向けた協議の内容や経過の報告が復命的に重ねてきたというのが実態。今後は当然、法律に規定された手続きであるし、そういうことがないように取り組んでいきたい。

問 他の自治体ではこのような案件について、市長と教育委員会の議論をしっかり文書に残し公開している例が多くある。行政文書は住民にとっての財産である。しっかり手続きをとって住民への説明責任を果たしていただくようお願いする。また、教育委員会は今後コミセンの業務にどう関わるのか。

答 コミセンは本市の社会教育施設の一つ。地域づくり支援課と一緒になってコミセンの状況把握や施策の進捗管理等を行っていく。また、コミセン職員の資質向上等にも取り組んでいただけたらと思っている。

こころ
田村（たむら） 閑美（しずみ）

女性と防災について

問 女性に対する防災の在り方は今後どのように推進していかれるか。

答 要配慮者の避難にかかる負担を下げる必要があると思う。男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインにおいて女性の参加を促している。本市においても防災安全課に4月から女性職員を配置しており、女性の視点できめ細やかな支援につなげていきたい。

リス舎周辺整備計画について

問 リス舎周辺整備計画に芝生と花壇が新たに計画されているが、緑の彫刻プロムナードへと続く市民と育て育むガーデンを提案したい。また、この場所を利用した地域経済活性化は不可欠と考えるがいかがか。

答 令和5年度は屋外トイレの改修、リス舎撤去。令和6年度は駐車場、歩廊工事実施。芝生は大御堂廃寺跡につなげ花壇の整備もする。

地域経済については少し検討したい。

公共交通と観光交通

問 未来中心周りで公共交通バス運行があるが、本通りの商店、事業所はバスの路線変更について理解できていない。公共交通と観光交通を整理し考えて頂きたい。

答 地域公共交通利便増進実施計画で中部を一体的に協議している。朝7時台の病院へのアクセスは効果はあった。中心市街地路線沿いの事業者への説明無しに変更してしまった事は陳謝する。現行は令和6年度末までで、令和7年度からの新しい計画の策定に向けて再検証したい。

公明党・改革新政会市議団
笠原（じくはら） 晶子（しょうこ）

ミライロIDの普及促進について

問 当事者団体への紹介は必須だったと思う。もう一歩踏み込んで、関係企業に紹介していくこともできたのではないか。言われたこと、聞かれたことだけするのではなく、目的を達成するためには何ができるか、どうしたらいいか、もう一歩踏み込んだ支援をお願いしたい。

答 障がい者団体に対しまして個別に周知すること等にも取り組んでまいりたい。

障がい者団体のご意見等も伺いながら各事業者登録への働きかけに努めていきたい。

スクールバスの混乗化について

問 群馬県下仁田町ではスクールバスを乗り合いバスとして有効活用し、地域住民の交通利便性の向上と車両の効率的な利用や運行経費の抑制、地域コミュニティの活性化へつなげている。本市のスクールバスも中高生や一般住民が乗車できるように研究していただきたい。

答 先進事例からスクールバスの多様な活用方法をシミュレーションして研究をしてまいりたい。

問 義務教育期間は通学費も無償とすべきと考える。現在補助制度があるが、完全無償化も視野に入れて検討願いたい。

答 義務教育の間は通学費を無償化する方向で検討を進めたい。

公明党・改革新政会市議団

鳥飼 幹男（とりかい みきお）

Aコープ閉店に伴う買い物環境確保対策について

問 県はJA系スーパーの相次ぐ店舗廃止を受けて、買い物環境の維持、確保を目指すために市町が取り組む買い物支援に対し、財政的措置を含めサポートするとして市町に店舗ごとの持続可能な「買い物環境確保計画」の策定を求めているが、Aコープせきがね店の計画の進捗状況を問う。

答 地元の意向として店舗存続を望む声があるので、事業継承を図っていくことが重要だと思っている。現在、事業継承に前向きな事業者があるので具体的な支援を含め計画に入れていく。また、関金地区振興協議会でも検討されている買い物支援策の取り組みも計画に含めて一緒になって地域の買い物環境の確保に努める。

予約型乗合いタクシー運行状況について

問 関金地区では、高齢になっても日常の移動手段を自家用車に過度に依存している実態がある。今後、公共交通は日常生活の重要な移動手段となる。既存のバス路線の効率化を図り、公共交通の確保、維持に努めるためにも路線バスと予約型乗り合いタクシーを組み合わせた交通体系を構築し、関金地区での運行事業を問う。

答 関金地区では、将来を見据えた公共交通の在り方を見直す時期に来ている。自宅の近くまで送迎できる予約型乗り合いタクシーの導入は利便性の向上につながる。関金地区での導入を検討したい。

公明党・改革新政会市議団

鳥羽 昌明（とば まさあき）

成徳小の新校名について

問 校名を変えることで間違いないか。いつまでに決定し、いつから新校名でスタートするのか。

答 変更する考えに変わりはない。年度途中の変更については、公務支援システムや諸手続き上の混乱、児童や教職員への負担などを考慮する必要があると考える。早くても来年度4月から新たな校名でスタートを切れたらと思っている。

持続可能な地域活動に向けて

問 昨年から公民館未加入世帯への市報配布に対して補助金が出ているが、その活用状況は。

答 昨年10月末時点で、市内218の自治公民館のうちの76の自治公にご協力いただいている。市内未加入世帯の5，967世帯の内の871世帯（14.6％）へ市報を配布している。

問 国の研究会でも自治会・町内会などの持続可能性を高めるために、市町村自らが活動の負担軽減やデジタル化を推進していくべきと提言している。本市もこうした取り組みの研究・検討を進めるべきではないか。

答 デジタル化の取り組みは負担軽減に向けた対策の大きな切り札になると思うし、県内でも南部町が広報誌のSNS配信を開始されている。そうした自治体を参考にしながら市報など配布物の配布方法の見直しを検討していきたい。

若い世代が参加しやすく自治公が持続可能な活動が出来るよう市としてもしっかりと取り組んでいきたい。

公明党・改革新政会市議団
福井（ふくい） 康夫（やすお）

市職員の健康管理について

問 職員の長時間労働の実態と分限休職の現状は。

答 令和４年の月45時間超残業者は51人。年３６０時間超残業者数は9人。メンタルヘルス不調は、令和2年～4年は、28人・27人・27人となっている。分限休職者は、20人・16人・14人。メンタル対策として職員課に保健師を配置した。外部相談の事業者委託には、66件の相談があった。

問 ＥＰＡの導入について、市長の見解は。
＊ＥＰＡとは・・・メンタルヘルス不調の従業員を支援するプログラムのこと。

答 内部と外部のＥＰＡが大切。相談窓口を有効に活用してケアに努めている。ＥＰＡの４つのケア等をしっかり進めていりたい。

スクールバスの混乗化実証実験について

問 北谷・高城・灘手地区への実証実験導入を～群馬県下仁田町の事例視察から。

答 バス運行の前提は、45人乗りで朝晩は満席予定で困難。人数、乗車場所・時間帯、路線の先行事例を研究する。

倉吉市移住・定住支援について

問 適用条件の緩和と見直しについては。

答 国の制度をよく読み込んでなかった。リフォームや引っ越し等、敷金なども可能とした。今後は、新たな交付要綱をよく確認していきたい。

さきがけ
山根（やまね） 健資（けんし）

赤瓦・白壁土蔵群（伝建地区）の保護について

問 赤瓦・白壁土蔵群の現状認識を確認は。

答 空き家などがあることは認識している。関連部署とつながれるところはつながって、引き続き情報収集や伝建地区を美しく保てるようにさらに努力を続けていく。

問 地区内で精力的に活動している方を倉吉市で活用していただく体制を整えていただけないか。

答 ご提案の方は地域に大きく貢献されている方と認識している。ご本人の意向を確認してから検討していきたい。

子育て支援について

問 国が行う子育て支援と合わせて、明石市の子ども一人当たり５千円支給のような倉吉市独自の新しい子育て支援をしてはどうか。

答 子育て支援は、第12次倉吉市総合計画の重点事項になっている。子どもを産み育てやすい環境を整え、切れ目のない支援体制を構築している。しかし、まだまだ十分ではないとの認識はある。国が行う支援とタイアップしながら内容を検討していきたい。

大御堂廃寺跡の駐車場の活用方法について

問 大御堂廃寺跡の駐車場の活用方法として、特に物産館のようなお金を落としていただく仕組みづくりが必要ではないか。

答 上棟記念イベント等で駐車場の混雑が見られた。駐車場不足を補うため、拡張も予定している。物産館等の提案をいただいたが、史跡内のため、遺跡調査に時間がかかると認識している。何らかの手立てを考えたい。

さきがけ
福井（ふくい） 典子（のりこ）

結婚支援について

問 少子化の主な原因は、非婚化・晩婚化によるところが大きいと考えられているが、倉吉市では結婚支援にどう取り組むか。幅広い年齢層を対象に取り組んで欲しい。

答 結婚を希望する人が結婚に向け活動をスムーズに進められるよう関係機関と連携しながら出会いの場を提供していく。県も今年から結婚支援コンシェルジュを3人、東中西の3地域に配置。この支援制度がより一層活きるよう取り組む。「えんトリー」登録料半額補助も検討している。

子育て支援について

問 住宅で子育てをしておられる家庭への支援の充実を。また、雨の日や休みの日でも小さなお子さんが気兼ねなく遊べる場の確保はどうなっているか。

答 保育園での一時預かりや2カ所の子育て支援センターなど、気軽に来ていただけるよう周知して必要な支援をしていく。また、西地区エリアに再編する認定こども園に子育て支援センターの機能も併せて設置を考えている。休みの日の利用については、公的施設は財政面、人材面などの問題解決が必要であり、今のところは考えていない。

さきがけ
米田（よねだ） 勝彦（かつひこ）

もうかる農業について

問 農業人口が減っている。儲かれば農業の参入者が増える。新たに農業をされる方や認定農業者の方々に対し、どのような支援をしているか。

答 市、JA、県農業農村担い手育成機構等が連携を取り、農業者の作付け品目、将来的な経営規模、資金面等の状況を聞き、関連する補助金や知識・技術を習得するための農業大学校等の研修の紹介等、支援をしている。

関金と蒜山との連携について

問 蒜山の観光客は年間200万人ある。連携が必要だと思うが。

答 蒜山の方は買物、飲食、医療等で倉吉とつながりがある。道の駅犬挟は真庭市も出資され、蒜山休暇村の宿泊、関金の農家民泊、蒜山の海の市・山の市への倉吉からの出店、世界的な建築家の作品が蒜山と倉吉にある等、こうしたつながりを元に観光での交流が一層深まればと考えている。

公共施設（体育館・まちかどステーション等）の環境整備について

問 熱中症対策及び防犯の観点からエアコンや防犯カメラを設置しては。

答 エアコンは指定管理者が管理する体育館及び小中学校の全ての体育館に設置していない。防犯カメラは小学校4校と中学校全てに設置。まちかどステーションには両方設置していない。

さきがけ
朝日等治（あさひとうじ）

道路行政について

問 北条湯原道路倉吉西インターチェンジから福山インターチェンジ間の開通はいつか。

答 県に問い、令和一桁代半ばと確認している。

問 山陰道の未整備区間及び国道179号はわいバイパスの完成はいつか。

答 令和8年度内と確認している。

問 これらの道路の完成で本市にもたらす効果をどう分析されているか。

答 令和7年春には県立美術館、星取テラスせきがねの完成が予定されるほか、大阪・関西万博などもあるため、交流人口増大による経済効果のほか、医療、災害支援にも寄与すると考える。

問 道の駅犬挟サテライト施設実証事業の進捗と展望は。

答 実証事業については9月頃から本格実施する。現施設の老朽化に伴う今後の大規模改修及び利用者の利便性等を考えると、現位置から関金宿周辺に移設することが望ましいと考える。

買い物機能の確保について

問 関金地区振興協議会が実施されたAコープせきがね店及びポプラ山守店閉店に伴う住民意識調査では、規模を縮小してでも店舗を確保すること及び山守地区に移動販売を導入する声が多いが、実現していただけないか。

答 今般の意識調査のみならず関金地区振興協議会が既に取り組まれている買い物支援事業の進捗に協調していること、町内のコンビニエンスストアが支援体制を構築中であることなど、福祉の観点からも、関金地域の方の意見を尊重しながら寄り添い、関金地域と倉吉市、鳥取県が一体となった関金モデルを構築し、地域と住民を守りたい。

日本共産党
佐藤博英（さとうひろひで）

加齢性難聴者への補聴器助成について

問 現在全国で百数十を超える自治体が実施している。国も医療費控除の対象にしている。「障害者支援法との整合性がとれるのか国、県、市町村の取り組みを見ていきたい」という答弁が続いているが、今も考え方は変わらないか。

答 フレイル、認知症に有効であると考える。県内8市町村が実施している。補聴器助成の実施に向けて、検討していきたい。

防災行政無線の多言語化について

問 防災行政無線を多言語化、外国語放送すべきではないか。現在、居住者も200人～300人、観光客も戻りつつある中で、必要なことではないか。

答 外国人への迅速な対応は必要だ。観光庁の「セーフティーチップス」などのアプリを周知していきたい。ホームページでは、英語・中国語・韓国語で対応する予定。防災行政無線は予定していない。

施設に通う障がい者への支援について

問 小規模作業所で働く障がい者に、交通費・食事代・作業工賃を出すべきだ。中部一市四町で倉吉市だけ支援がない。

答 就労支援施設の多くが市内にある。他町の方は遠く負担も大きいので、支援があるのではないか。事業所への作業発注などで支援していく。

【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。

市議会提出議案

議員名	通　告	担当部局
米田勝彦	R05補正予算 スポーツ活動振興	経済観光部
	R05補正予算 地球温暖化対策推進	市民生活部
	R05補正予算 小学校運営（学校）	教育委員会
大津昌克	R05補正予算 【歳入】総務費寄付金	経済観光部
	R05補正予算 若者定住・ＩＪＵターン事業	経済観光部
	R05補正予算 地球温暖化対策推進	市民生活部
	R05補正予算 旧グリーンスコーレせきがね再生事業	経済観光部
	R05補正予算 まちづくり管理	建設部
鳥飼幹男	R05補正予算 【歳入】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	総務部
田村閑美	R05補正予算 保育所運営（就学前教育・保育施設整備交付金）	健康福祉部
	R05補正予算 教育総務	教育委員会
	R05補正予算 小学校運営（学校）	教育委員会
大月悦子	R05補正予算 特別展　前田寛治大賞展	教育委員会
伊藤正三	R05補正予算 地球温暖化対策推進	市民生活部
	R05補正予算 【交付金事業】経営者福高対策事業	経済観光部
	R05補正予算 空き家対策	建設部
	R05補正予算 企業誘致	経済観光部

議員名	通　告	担当部局
竺原晶子	R05補正予算 地球温暖化対策推進	市民生活部
	R05補正予算 若者定住・ＩＪＵターン事業	経済観光部
朝日等治	R05補正予算 就農条件整備事業	経済観光部
福井康夫	R05補正予算 【交付金事業】高速バス利用促進支援事業	総務部
	R05補正予算 保育所運営（就学前教育・保育施設整備交付金）	健康福祉部
鳥羽昌明	R05補正予算 【交付金事業】高速バス利用促進支援事業	総務部
	R05補正予算 地球温暖化対策推進	市民生活部
佐藤博英	R05補正予算 地球温暖化対策推進	市民生活部
	R05補正予算 小規模零細地域営農確立促進対策	経済観光部
	R05補正予算 林業経営改善	経済観光部
山根健資	R05補正予算 地球温暖化対策推進	市民生活部
	R05補正予算 【交付金事業】経営者福高対策事業	経済観光部
	R05補正予算 スポーツ活動振興	経済観光部

R05補正予算 … 議案第50号
令和５年度倉吉市一般会計補正予算（第２号）

主な質疑・答弁

地球温暖化対策推進

補正前	497万5千円
補正額	920万円

Q 地域活性化起業人制度負担金5，200千円について、事業の制度の目的や求める効果は。

A 地域活性化起業人（企業人材派遣制度）で、以前は地域おこし企業人制度ということで活用されており、活用できる自治体要件が緩和されたことによって、令和３年度からこの地域活性化起業人制度ということに形をシフトしていったというもの。総務省の制度で、地方公共団体が三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かしながら地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事してもらい、地域活性化につなげることが、この制度の目的になる。

本市においては、脱炭素の取り組みと地域課題の解決を一体的に推進することで再生可能エネルギーの導入を図っていき、環境に配慮した住みやすい地域として魅力を発信していくことを目指している。最終的な効果は具体的な提案内容によるが、脱炭素の取り組みと地域課題への対応に関する可能性や解決の方向性を示すことが期待される。

経営者福高対策事業費補助金

補正前	0円
補正額	2億4，475万1千円

Q 支援対象、その補助の要件、狙いは。

A 新型コロナウイルスや物価高騰の影響を受ける市内の事業者を支援するため、省エネ対策や事業再構築を目指す取り組みに２つの支援型を設けた。

○省エネ対策支援型→古い機器を省エネ対応の機器に更新する際に、経費の４分の３を支援。空調機や冷蔵庫、照明器具などが該当。ただし、新規設備は対象外。

○事業再構築支援型→環境変化に対応し新たな事業創造につながる取り組みを支援。事前に商工会議所や金融機関と確認した事業計画を対象にし、経費の４分の３、上限50万円を支援。商品開発や事業転換、人材育成費などに対して支援を進める。

【特別委員会】

【特別委員会とは？**】**
臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

地域の賑わい創出対策特別委員会

委員	丸田 克孝 委員長、田村 閑美 副委員長、 伊藤 正三 委員、福井 典子 委員、 福谷 直美 委員、米田 勝彦 委員

6月29日（木）に第７回委員会を全委員６名出席のもと開催いたしました。

県立美術館周辺整備に関することとして、リス舎・集いの広場周辺整備について、各執行部から状況説明を聞き、トイレの改修と必要性、また駐車場の整備等、周辺の環境整備について質問と意見交換を行いました。

来場者と市の活性化のためにも「上灘中央公園を活用してみては」との意見が出され、市側の意見を聞きました。都市公園で史跡大御堂廃寺跡とのことで整備には諸問題があるとの説明でしたが、何とか整備方法の検討を進めるよう提言し、現地にて執行部と場所の認識を共有することを決定しました。

周遊滞在型観光地モビリティ向上計画の策定については、今後の方針で観光駐車場等の適正な運用、ループバスの導入検討、グリーンスローモビリティの導入、パーソナルモビリティの拡充、観光モデルコースの作成等々の説明を聞き、さらなる充実の検討を提言して終了しました。

議会改革推進特別委員会

委員	藤井 隆弘 委員長、大津 昌克 副委員長、 朝日 等治 委員、大月 悦子 委員、 竺原 晶子 委員、鳥羽 昌明 委員、 山根 健資 委員

7月３日に、次の最終報告を行いました。

①議会基本条例案の作成は、パブリックコメントの意見も参考に逐条解説を作成しました。条例制定後、市民の皆様に公表してまいります。

②議会ＢＣＰ案の作成は、３月21日に策定となりました。今後は、議会全体として定期的に訓練と計画の見直しを実施します。

③議会のタブレット導入・運用は、会議等でのペーパーレス化に向け積極的に使用します。

④議員定数に関しては、５月に行政視察を行い、定数に関する検討状況、常任委員会の運営方法等を研修し、意見交換を行いました。その結果、委員会構成、住民の理解、類似団体の平均等から現状維持、１人減16人、19人の３つの意見にまとめました。

なお、「議案不分の原則」も踏まえた予算決算委員会の設置や委員会構成のあり方を議論した上で、適正な議員定数を決定すべきであることを申し添えます。

【常任委員会】

【常任委員会とは？**】**
所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

教育福祉常任委員会

委員	鳥羽 昌明 委員長 山根 健資 副委員長 伊藤 正三 委員 大津 昌克 委員 佐藤 博英 委員 福井 典子 委員
所管	健康福祉部、教育委員会

教育福祉常任委員会には議案3件、請願1件、陳情2件が付託され、委員会審査が行われました。

陳情第9号横田地区内保育園建設に関する陳情の審査では、先の3月定例議会で附帯決議を行って以降の地元住民に対する市の説明会の実施状況や参加者からの主な意見について執行部に説明を求めました。

また、今後の開園予定時期への質問に対して執行部からは、当初の令和5年4月供用開始から、現時点で令和8年度の5月あるいは6月頃の見込みであるとの見解が示されました。

委員からは、「新しい保育園に対する期待は大きく、早く進めるべき。これから一から決めていくというのは難しいと思う」「3園を1つに統合するのには無理がある、北谷・高城と社の2園つくる方法しかないのでは」「地域住民間での綱引きが始まっており、子育て世代に不利益が生じないよう市には誠心誠意説明を尽くしてもらいたい」などの意見が交わされました。

審査の結果

審査の結果、付託された議案は全て可決されました。請願第3号および陳情第8号については採択、また陳情第9号については賛成少数により不採択とされました。

総務建設常任委員会

委員	米田 勝彦 委員長 竺原 晶子 副委員長 朝日 等治 委員 大月 悦子 委員 福谷 直美 委員 藤井 隆弘 委員
所管	総務部、建設部、会計課、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会

総務建設常任委員会には議案6件、請願1件、陳情2件が付託され、委員会審査が行われました。

議案第55号では、防災行政無線更新工事について説明があり、現在のものは交換部品の製造が令和7年で終了するため、今後、令和5～6年度で更新し、各戸の受信機はアナログがデジタルになるので雑音が減少するとのことでした。

議案第56号では、みどり町の災害復旧工事について工事内容の説明を受け、工事完成は令和6年3月ということでした。

議案第58号では、消防団及び自主防災組織の消火活動に使用する小型動力消防ポンプ8台の購入について説明を受けました。

審査の結果

付託の議案は全て可決。請願第2号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出」及び陳情第12号「いわゆるトラベルルールの円滑な実施と、利用者保護に係る意見書提出」は採択、議案第10号「入管法改正案の撤回を求める意見書提出等」は継続審査でした。

市民経済常任委員会

委員	福井 康夫 委員長 鳥飼 幹男 副委員長 田村 閑美 委員 丸田 克孝 委員
所管	市民生活部、経済観光部 農業委員会

市民経済常任委員会には、2件の議案と2件の請願、4件の陳情が付託され、6月28日に委員会審査を開催。6月補正では、交付金事業として、経営者福高対策事業（2億4，475万1千円）、新規事業として、倉吉市事業者電気・ガス料金高騰支援交付金（1億8，475万1千円）の補正予算を承認。企業誘致事業（貸し工場整備計画について）200人超の新規雇用を目指す生産拠点整備に向けて、倉吉市河北町の旧木材市場跡地の用地取得費1億1，440万円を承認。総事業費は11億3，800万円を予定。また県有地（元巌城はごろも苑）の財産取得を承認。

審査の結果

審査の結果、付託された議案はいずれも可決されました。請願第4号及び請願第5号は採択。陳情6号、森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める陳情は採択。陳情第7号は委員会では不採択。本会議で委員会の決定が否決されて採択となりました。陳情第11号、陳情第13号はいずれも趣旨採択となりました。

6月 第4回 定例会

【議案等の議決結果】

6月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件はなく、全ての議案が可決・同意されました。

議決結果

請願・陳情の結果

番号	件名	委員長報告（付託委員会）	く 藤井隆弘	く 丸田克孝	く 大津昌克	く 大月悦子	く 福谷直美	公・新 鳥飼幹男	公・新 福井康夫	公・新 鳥羽昌明	公・新 笠原晶子	公・新 伊藤正三	さ 朝日等治	さ 米田勝彦	さ 山根健資	さ 福井典子	共 佐藤博英	こ 田村閑美	賛成	反対	議決結果
			委員長報告に対する賛否																		
請願 第 3号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
請願 第 4号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を行うよう求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
請願 第 5号	一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 6号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 7号	国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める意見書提出について	不採択	×	○	×	○	−	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	6	9	採択
陳情 第 8号	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書提出について	採択	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 9号	横田地区内保育園建設に関する陳情	不採択	×	×	×	×	−	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	8	7	不採択
陳情 第 10号	入管法改正案の撤回を求める意見書提出等について	継続審査	○	○	○	○	−	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2	継続審査
陳情 第 11号	入管法改正案の撤回を求める意見書提出等について	趣旨採択	○	○	○	○	−	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	12	3	趣旨採択
陳情 第 12号	いわゆるトラベルルールの円滑な実施と、利用者保護に係る意見書提出について	採択	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 13号	マイナンバーカードをめぐる各種問題の再発防止を求める意見書提出について	趣旨採択	○	○	○	○	−	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	趣旨採択

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、－議長のため表決に加わらず ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。

【会派名】く…くらよし 公・新…公明党・改革新政会市議団 さ…さきがけ 共…日本共産党 こ…こころ

視察報告

議会改革推進特別委員会視察報告

期　　間	令和5年5月22日(月) ～ 5月23日(火)			
旅 費 総 額	96,300円			
視察先・目的	島根県江津市	江津市役所	議員定数及び予算決算の委員会審査について	
	島根県浜田市	浜田市役所	議員定数及び予算決算の委員会審査について	
	鳥取県境港市	境港市役所	議員定数及び予算決算の委員会審査について	
視　察　者	藤井 隆弘、大津 昌克、大月 悦子、鳥羽 昌明、竺原 晶子、朝日 等治、山根 健資			6人 (5／23は7人)

個人・会派視察報告

期　　間	令和5年4月27日(木) ～ 4月28日(金)		旅 費 総 額	37,120円
視察先・目的	滋賀県大津市	全国市町村国際文化研修所（JIAM）	市町村議会議員研修 第1回「防災と議員の役割」	
視　察　者	大月 悦子			1人

期　　間	令和5年5月17日(水) ～ 5月19日(金)		旅 費 総 額	427,190円
視察先・目的	群馬県下仁田町	下仁田町役場	公共交通の運行の効率化（自家用有償旅客運送とスクールバスの運行時間の区分・スクールバスの混乗化）について	
	長野県飯綱町	飯綱町役場	i（アイ）バスについて	
	東京都町田市	町田市役所	デジタル町内会「いちのいち」について	
視察者(会派)	鳥飼 幹男、福井 康夫、鳥羽 昌明、竺原 晶子（公明党・改革新政会市議団）			4人

期　　間	令和5年5月19日(金) ～ 5月21日(日)		旅 費 総 額	56,570円
視察先・目的	愛知県名古屋市	名古屋能楽堂	社会的マルトリートメント予防全国集会	
視　察　者	竺原 晶子			1人

期　　間	令和5年5月24日(水) ～ 5月25日(木)		旅 費 総 額	79,020円
視察先・目的	東京都千代田区	明治大学　アカデミーホール	日本自治創造学会第15回研究大会	
視　察　者	鳥羽 昌明			1人

期　　間	令和5年7月4日(火) ～ 7月6日(木)		旅 費 総 額	611,580円
視察先・目的	東京都千代田区	議員会館	地元選出国会議員要望活動	
	東京都新宿区	早稲田大学大隈講堂	全国地方議会サミット2023	
視　察　者	藤井 隆弘、大津 昌克、大月 悦子、福谷 直美、朝日 等治、山根 健資、福井 典子、田村 閑美			8人

期　　間	令和5年7月11日(火) ～ 7月13日(木)		旅 費 総 額	204,330円
視察先・目的	愛知県名古屋市	名古屋市役所	敬老パスについて	
	長野県飯田市	飯田市役所	移住・定住の取組（住みたい田舎ベストランキング総合部門1位に繋がった施策等）について	
	愛知県犬山市	犬山市役所	書かなくていい窓口（ワンストップ窓口）について	
視　察　者	鳥飼 幹男、竺原 晶子、田村 閑美			3人

市制施行70周年記念事業

議会オープンデー

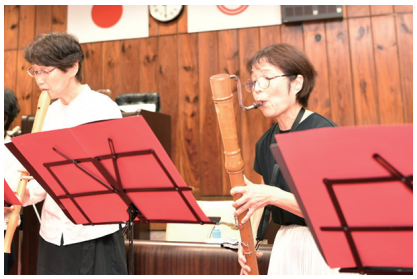
市制施行70周年記念事業として、令和5年7月29日（土）に議会棟にて、議会オープンデーを開催しました。たくさんの方にご来場いただき、大変盛り上がりました。ありがとうございました。

7/29（土）
13：30～16：00

ー 講演会 ー

演題「戦乱の証人 打吹城」
倉吉博物館 根鈴輝雄 館長

リコーダーアンサンブル「アウリンコ」（演奏）



打吹羽衣音頭の会（寸劇）

打吹羽衣音頭の会（踊り）

ビックスシンガーズ（ゴスペルソング）

倉吉城下町の会（歌唱）

～来場者の感想～

- 打吹城の歴史から音楽、踊りまで堪能しました。
- 少々入りにくいなと思っていた議場ですが、今回の企画でとても身近に感じられてよかったと思います。
- これを機会に議会の折には見学させてもらいやすく、議会に対して少し親しみが湧きました。
- 議場（建物）の成り立ちから打吹城の話、後の演目とても楽しく良い機会をいただいたと思いました。
- このような機会がなければ、議場に入ることはないので、良い体験をさせていただきありがとうございました。

令和5年 9月 倉吉市議会定例会

【会　　期】9月4日(月)～9月21日(木)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内　容	
9月4日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
5日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
6日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
7日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
8日	金	予備日			
9日	土	休会			
10日	日	休会			
11日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑	
12日	火	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑～委員会付託	
13日	水	予備日			
14日	木	委員会		常任委員会（予定）	
15日	金	委員会		常任委員会（予定）	
16日	土	休会			
17日	日	休会			
18日	月	休会			
19日	火	予備日			
20日	水	議事整理日			
21日	木	本会議	午前10時	委員長報告～付議議案の討論・採決	

…ケーブルテレビ放送あり　※録画放送は開催日の午後７時から。

…手話通訳あり

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会　検索

編集後記

最近の春から夏の暑さは異常だ。災害規模も過去最悪を記録していく。

地方自治体、地方議員は、こうした時、地域住民の姿と声を国に届け、自助・共助の強化に力を尽くすが、公助、特に河川、道路交通、土砂危険区域等の安全管理基準は、今のままでいいのか。そしてカーボンニュートラルの取組みは、国、自治体最大の問題ではないか。

話は違うが、ＡＩ技術やマイナンバーなどのデジタル化の勢いも異常というくらい急速だ。

こうした急激な変化は、必ずヒズミをもたらす。「人間とは何か」、これまでの「技術革新」とは違う「恐ろしさ」を感じる今日このごろだ。「年のせい」の問題なのか。

（編集委員：佐藤博英）

議会だより「白壁」のご意見・ご感想はこちら ▶

市民のこえ

株式会社グッドスマイル
カンパニー楽月工場
本部長
山崎直也（やまさきなおや）さん

― 倉吉へ移住したきっかけは

もともと兵庫県の西宮に住んでいたのですが、スーパーGTというレースでグッドスマイルレーシングというチームを応援しておりまして、2014年の活躍していた年に隣の鳥取県にグッドスマイルカンパニーの工場が立つとSNSで拝見し、応援の想いが大半でしたが応募して採用をいただいて移住を決めました。

― 倉吉市に移住して思うこと、感じること

倉吉は空気がきれいで移住した後に体調が良くなりましたし、その上食べ物もお水もおいしいです。

また雪が降る環境に住んでいたことが無かったので、積雪などで不便を感じることはありますが、しっかり四季を感じられて冬が好きになりました。

― 市や市議会に望むこと

弊社の第二工場立ち上げの計画もあって県外からもたくさんの人に来てもらいたいです。

そのためには、わかりやすい移住の補助制度などがあると嬉しいです。

また、移住前の地元では外で遊ぶ場所が徐々に無くなっていっていたのですが、子どもたちが球技やスケートボードなどを楽しめるようなところが増えると良いなと思っております。

発行：倉吉市議会 ／ 編集：議会だより編集委員　〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722　TEL.(0858)22−8145　FAX.(0858)22−8146
【議会だより編集委員】 竺原 晶子委員長、山根 健資副委員長、大月 悦子委員、田村 閑美委員、佐藤 博英委員

UD FONT